

「島根と和歌文学」講演会のお知らせ

島根の文学あり方研究会

出雲地方は和歌発祥の地とされています。
あなたも島根で活躍した歌人たちの足跡と和歌に込めた思いをたどってみませんか。

「八雲立つ 出雲八重垣 妻ごめに 八重垣つくる その八重垣を」
これは、「古事記」に記されたスサノオノミコトが出雲で詠んだ歌で、和歌の始まりとされています。古来、出雲地方は和歌文学にゆかり深い風土がありました。江戸時代になると、出雲大社を中心とする和歌のネットワークができ、精力的な活動が行われており、その流れは近代へと受け継がれていきました。
このたびの講演会では、島根大学名誉教授の芦田耕一氏を講師としてお迎えし、島根で活動した歌人たちの足跡と和歌に込めた思いをたどりながら、島根における和歌文学の成り立ちと展開をわかりやすく学びたいと思います。ご期待ください。

講師 島根大学名誉教授 芦田耕一 氏
題目 和歌発祥の地「出雲」
とき 平成25年9月14日(土) 午後2時～3時
ところ 島根県立図書館 集会室

入場無料。どなたでも参加できます。



講師プロフィール

1946年大阪市に生まれる。
神戸大学大学院文学研究科修了。専門は和歌文学。
島根大学名誉教授。
著書『六条藤家清輔の研究』(単著)
『袋草紙考証』歌学篇・雑談篇(ともに共著)
『清輔集新注』(単著)
『出雲国名所歌集 - 翻刻と解説 - 』(共著)
『江戸時代の出雲歌壇』(単著)

<お問い合わせ>

島根県環境生活部文化国際課
文化振興室 担当：細木
TEL 0852-22-5877